

# 会議録

令和3年7月28日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和3年度第1回定例会
開催日時	令和3年4月28日(水) 18時30分から19時50分まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	<p>委員：小野修平(会長)、西原みどり(副会長)、伊藤正明、大友禾弘子、小林道子、遠藤修、大内俊、伊藤邦子、伊尻由起、渡部國夫、小沼純子、倉持伸江、高井正</p> <p>職員：高田館長、國府方館長補佐(田無分館長)、山本事業係長、等々力分館長(芝久保)、三城分館長(谷戸)、長谷部分館長(保谷駅前)、星野事業係主査、市川事業係主査</p>
欠席者	なし
議題	<p>1 議題</p> <p>(1) 令和3年度西東京市公民館事業計画(案)について</p> <p>(2) 主催事業について</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 令和2年度公民館主催事業報告(資料1)</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 令和3年度公民館主催事業計画(資料2)</p> <p>(3) 報告事項</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 令和2年度第9回定例会会議録(案)について(資料3)</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 令和2年度第10回定例会会議録(案)について(資料4)</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 行政報告</p> <p style="margin-left: 20px;">エ 公民館だより編集室報告</p> <p style="margin-left: 20px;">オ 都公連報告</p> <p style="margin-left: 20px;">カ 利用者懇談会報告(資料5)</p> <p>2 事務連絡及び情報交換</p> <p>(1) 西東京市公運審委員ハンドブックについて</p> <p>(2) 第10期公運審委員の任期を終えて</p> <p>(3) 5月定例会開催について</p> <p style="margin-left: 40px;">5月19日(水) 午後6時30分から 柳沢公民館 視聴覚室</p>
会議資料の名称	<p>資料1 令和2年度公民館主催事業報告書</p> <p>資料2 令和3年度公民館主催事業計画書</p> <p>資料3 令和2年度第9回定例会会議録(案)</p> <p>資料4 令和2年度第10回定例会会議録(案)</p> <p>資料5 利用者懇談会報告</p> <p>資料6 西東京市公民館事業計画(令和3年度～5年度)</p> <p>資料7 令和3年度西東京市公民館事業計画(4月～6月)</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 2人
会議内容	
<p><b>教育長挨拶</b></p> <p>○教育長</p> <p>第10期最後の審議会ということで参加させていただいた。2年間、大変熱心な活動をしていただき心よりお礼申し上げる。今回審議作成いただいた公民館事業計画の「地域とともに」というスローガンに大変共感する。現在、国は地域とともに学校があるということの方針として打ち出している。市ではその一環として「地域学校協働活動」、「コミュニティスクール」を実施する。公民館は地域住民の学ぶ権利を保障する大切な場だと認識している。私自身も様々な事業に参加したいと思っている。今後ともよろしくお願いをしたい。</p> <p>(退席)</p>	

## 1 議題

### (1) 令和3年度西東京市公民館事業計画(案)について

#### ○事務局（事業係主査）

今回お配りしたのは、6月の本予算議決後、教育委員会に報告したうえで市民配布するものの案である。前回の審議会で皆さんからいただいたご意見を反映したもののだが、確定版ではない。冊子全体の体裁やイメージ、構成等についてご意見があれば伺いたい。

#### ○A委員

7ページの一覧では学校出前講座が田無公民館にのみ記載されている。公民館全体で実施するという認識だったが、説明をお願いしたい。

#### ○公民館長

学校出前講座は、今年度耐震改修工事で休館中の田無公民館の職員が主担当という位置づけのため、このような記載となっているが、おっしゃるとおり田無だけでなく6館全てに担当があり、連携協力しながら実施していくものである。少し書き方を工夫したいと思う。

### (2) 主催事業について

#### ア 令和2年度公民館主催事業報告（資料1）

#### ○B委員

今回、子育て中の女性対象の保育付き講座が4館4件と多く感じる。それぞれとても良い講座だと思うが、実施時期が同じなので、どれも参加したいという希望に応えられていない。今後、各館の連携を密にしてタイミングをずらして実施してもらいたい。

#### ○公民館長

ご指摘の講座については、公民館保育室の趣旨に基づき、子どもたちのつながり、大人同士のつながりを形成しながら、ともに育ちあうことを目的としており、単発の保育付き講座ではなく、長期間の連続講座として実施している。そのため例年、実施時期は重なっているが、特に今年度はコロナの影響も鑑みてスタートが各館ほぼ同時となった。いただいたご意見は今後の参考としていく。

#### ○C委員

私自身、子どもを公民館保育室に預け、また公民館保育員としても関わってきたが、これまで公民館保育室では子どもが同時期に複数の保育室に通うことは避けてきている。子どもの学びを大切にすることを考えたとき、同時期に複数のグループに所属すると子どもが混乱するであろうという考えから、複数の保育付き講座を同時に受講しないことを基本としてきていると思う。

#### ○副会長

このような意見もあるが、令和2年度は特にコロナで講座実施が解禁となったのがこの時期であったことも、スタートが9月に集中した大きな要因だと思う。そのような状況も踏まえたうえで、各地域で参加しやすいような講座の運営をしていただきたいと思います。

#### ○D委員

田無公民館は現在休館しているが、今回報告の講座等で、参加者がサークル化したいという希望については対応していくのか。特に映像の講座などは幅広い世代が参加したということで、そのあたりのフォローについてお聞きしたい。

#### ○公民館長

保育付き講座については、当初から講座の中で、サークル化する場合は芝久保公民館での活動になるという形でフォローをしてきた。そしてサークル化し、現在芝久保で活動することになっている。また、すでに活動していた自主保育のサークルについては、一年間柳沢公民館で活動することになっている。それ以外の講座については、参加者のつながりが切れないように、学習支援や情報共有など、再開館に向けてどのようなことができるか考えながら進めていきたい。

#### ○副会長

保谷駅前のごぜ唄の講座は、まさに公民館が地域に出て行った活動として意義のある事業だったのではないと思う。また芝久保公民館の空襲について学ぶ講座は、学校出前講座としても利用してほしい内容だったという声も聞いている。このような事業計画の目標に沿った有意義な講

座を進めてほしい。

## イ 令和3年度公民館主催事業計画（資料2）

### ○E委員

全体に関わることだが、グループワークで使うアクリル板の仕切りについて、使うと声が聞きづらくなり、かえって大きな声での話し合いになることがある。効果についても疑問を感じる。空気の流れと二酸化炭素を計測して換気を促すような機械があるという情報があるが、導入することはできないか。

### ○公民館長

申し訳ないが、今後そのような機器が入る予定は今のところない。ただ公民館として、感染拡大防止対策として、アクリル板や非接触型の体温計の貸し出しなどをできる状態にしておくことはとても重要なことだと思っている。消毒用品や部屋の使用方法等も含めて、現在公民館としてとれる対策はとっているつもりである。その上で、各団体や参加者には工夫しながら利用していただきたいと考えている。

### ○副会長

前後してしまっただが、本日の資料の中にある「令和3年～5年 公民館事業計画実行計画」について事務局からの説明を求める。

### ○事務局（事業係主査）

以前に委員の皆様から、3年間の事業計画を作成するにあたり、3年後の公民館の姿を示した方がいいという意見があった。本実行計画は、公民館総体としての将来像を提示するのは難しいが、個々の具体的な事業について今年度、来年度、再来年度と、どのように展開していくかをまとめたものとなっている。すべての事業を網羅しているわけではないが、中長期的な視点で講座運営をしていくことを確認しお伝えするために作成した。

## (3) 報告事項

### ア 令和2年度第9回定例会会議録(案)について（資料3）

承認。

### イ 令和2年度第10回定例会会議録(案)について（資料4）

各自内容を確認し、修正等があれば一週間以内に公民館へ連絡する。

### ○副会長

今回の会議録についてはどうなるのか。

### ○公民館長

本日がこのメンバーでの審議会の最終回になるので、作成できたらメールでお送りし、ご確認いただく。

## ウ 行政報告

### ○公民館長

#### ①令和3年西東京市議会第一回定例会の報告

<主な代表質問>

- 1) 公民館のコミュニティ機能について
- 2) 田無公民館休館中の団体活動場所の確保について
- 3) 第9次地方分権一括法より社会教育施設が市長部局に移管可能となったがそのことについてどのように考えるか

(答弁概要)

- 1) 公民館は社会教育を推進する拠点施設として中心的な役割を担うとともに、様々な機関や団体とのネットワーク形成を促し、コミュニティづくりに資する各種事業に取り組んできた。また本年実施した「田無公民館つながるプロジェクト」では、耐震改修後の田無公民館ロビーの活用方法を検討する中でつながりを促進するワークショップを開催した。今

後も庁内関係各課や各種団体と、地域の課題・目的を共有しながら、連携協働事業に取り組んでいきたいと考えている。

- 2) 田無公民館の休館中の対応として、4月から田無総合福祉センター3階の一室を「田無公民館(仮)活動室」としてご利用いただけることとした。また田無公民館の利用団体に対しては、休館期間中の活動場所に関する相談などを個別に伺い、各団体の活動支援に努めていく。
- 3) 教育委員会としては、中央教育審議会の答申にもあるとおり、教育委員会が所管することが基本であると考えているが、各地の事例等も参考にしながら社会教育施設のより有効な活用に関して調査・研究をしていく。

## ②予算特別委員会(暫定)の報告

<主な質問・意見>

- 1) 芝久保公民館のピアノの調律は年に何回やっているのか。とても良いピアノなので年2回は行って、市民が来てくれる事業を積極的にやってほしい。
- 2) 今年度の保育付き講座の実施状況と今後について
- 3) 令和3年3月12日付のGIGAスクールに関する通知において、「端末の持ち帰りにより様々な場面でICTを活用した学習ができるよう、公民館、図書館等の社会教育施設などについても活用を踏まえた学習支援を検討すること」とされているが、このことについてどのように考えるか

(答弁概要)

- 1) ピアノの調律は、年1回、祭りやコンサートなどイベントで使用する前に行っている。
- 2) コロナの影響で回数や定員は少ないが、今年度も継続して行っている
- 3) 教育指導課長が「通知に基づき、検討をすすめていく必要があると考える。」と答弁した。

## ③教育委員会令和3年第4回定例会(4月26日)の報告

- ・第11期公民館運営審議会委員の委嘱及び任命についての議決
- ・報告2件

令和3年度～5年度の公民館事業計画

暫定予算期間中の令和3年度公民館事業計画(4月～6月)

<主な質問>

- 1) 公民館は担当エリアがあるのか
- 2) 小・中学生の公民館利用はどのような状況か

(答弁概要)

- 1) エリアというよりそれぞれの館が持つ特性を活かした実施を心がけている。また、公民館以外の場所での実施や、地域の人材や資源を活用して、活動の場を広げるような仕掛けや仕組みづくりを目指している。
- 2) 公民館のロビーは誰でも自由に利用できる場であり、谷戸や芝久保などは、学校帰りの小学生が来て、ロビーで話をしたり、ゲームをしている姿があった。事務室でもカードゲームなどを貸し出ししていた。また、主に高校生以上であるが、ロビーで勉強する姿も多く見られた。今は新型コロナウイルス感染症対策で、机をしまっているが、子ども対象事業は多い年度では25事業実施していたので、今年度も非接触で楽しめる事業を実施していきたい。

## エ 公民館だより編集室報告

特になし。

## オ 都公連(東京都公民館連絡協議会)報告

### ○F委員

東大和市中央公民館で4月20日に都公連の総会があった。代議員として私と大友委員で出席。前年度の活動報告・決算報告、今年度の活動予定・予算、役員の改選を議題として行われ、それぞれ議決された。

続いて都公連委員部会の報告である。今期は日野市の公民館で委員部会が行われることになった。委員部会は、11市が集まって毎月1回、公運審委員が学習や情報交換を行い、加えて年2回の研修会も行っているものだが、昨年度はコロナの影響で縮小やリモートでの開催となった。今年度も状況を見ながら、適宜実施していくということを確認した。また、各市の伝えたいこと参考になることを持ち寄って情報を共有することの大切さについて申し渡しをした。

### カ 利用者懇談会報告（資料5）

○館長補佐

3月に実施した田無公民館を除く5館の利用者懇談会の報告書を資料5としてお示ししているので内容を確認いただきたい。

## 2 事務連絡及び情報交換

### (1) 西東京市公運審委員ハンドブックについて

○会長

本ハンドブックと概要版は、元福生市公民館長の伊東静一氏を講師に迎えての3月の研修を踏まえ、第10期委員が第11期委員へのバトンとして、二日間の作業日を設けるなどして作成したものである。今日、皆さんの承認が得られれば、第一版として正式に発行したい。市民配布するものではなく、公運審委員や公民館職員の学習資料ということでスタートできればいいと思っている。なお、第11期委員にもこれを作ってほしいということではなく、第10期委員がこの2年間で得たものをもとに新しい委員の方たちの役に立てればという思いで作成した。

●承認。

### (2) 第10期公運審委員の任期を終えて

各委員、一言ずつ発言

### ※その他として、谷戸まつりについて報告

○分館長（谷戸）

谷戸まつり実行委員会による谷戸まつりは、昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、実施を見送ることとなった。そこで団体相互の交流やモチベーションの維持を目的に、30年間で培ってきたものを何らかの形で地域に役立てようと「谷戸まつり実行委員会プレゼンツ交流会（4月25日実施予定）」を企画していたが、今回の緊急事態宣言発出に伴う臨時休館により、そちらも見送りとなってしまった。計画内容は、サークル活動紹介の掲示やミニ発表会、座談会などだった。今後の方針は未定だが、谷戸公民館としては実行委員会や団体の皆さんを支えていきたいと考えている。

### (3) 5月定例会開催について

5月19日（水）午後6時30分から 柳沢公民館 視聴覚室